

漁師の森づくりプロジェクト

長年放置された山を針葉樹から広葉樹に植え替えて整備し、川をきれいにし、山から海を蘇らせます！



NPO法人伊豆未来塾

所在地：賀茂郡南伊豆町
ホームページアドレス
<https://www.facebook.com/npo.miraijyuku>
TEL 090-5858-5486
プロジェクトの主催・運営、植樹の樹種選択

NPO

有限会社愛美林

所在地：賀茂郡南伊豆町
ホームページアドレス
<http://www.aibirin.co.jp/index.html>
TEL 0558-62-2908
植樹する場所の確保・整備、苗木の調達、植樹の指導

企業

伊豆漁業協同組合 南伊豆支所

所在地：賀茂郡南伊豆町
ホームページアドレス
<https://m-izu.net/>
TEL 0558-62-0320
参加組合員募集、当日の大漁旗、植樹祭準備、植樹実施

協同組合

プロジェクトの運営、樹種選択はNPO法人伊豆未来塾が行い、植樹場所の確保・整備、苗木の調達、植樹指導は有限会社愛美林。植樹祭を通じて伊豆漁業協同組合 南伊豆支所や漁師、地元住民等幅広い職種・年齢層がプロジェクトに関わりました！資金面では、公益財団法人イオン環境財団環境活動助成を活用。

漁業の衰退や獣害に悩まされる

南伊豆町は漁業が盛んで伊勢海老、アワビ、サザエなど魚介類が獲れることで有名です。しかし、20年ほど前から気候変動が原因で海岸に生えている海藻が減少する磯焼けが生じ魚介類の収穫が減少してしまいました。さらに、獣害の影響で山に下草がなく、雨が降ると泥が流れ込み海が泥まみれになることに漁師達は困っていました。

山の荒廃が海を脅かすことを知ったNPO法人伊豆未来塾理事長の石川さんは、同様の課題を解決した宮城県気仙沼市の「森は海の恋人植樹祭」のことを耳にしました。山の植樹と整備で牡蠣が育つ海を蘇らせた事例です。山に降った雨は一旦葉や土壌の中に貯えられ栄養を多く含んだ水となり海に流れ込みます。その栄養で魚や貝が豊かに育ちます。牡蠣にとって森は生命の源です。そのために山に植えられている針葉樹を広葉樹に植え替え整備し、保水効果を高め土砂流出を防止します。石川さんは、南伊豆町でも「漁師の森づくりプロジェクト」として実施をできないかと考えました。

2020年と2021年に公益財団法人イオン環境財団環境活動助成に採択され、プロジェクトが本格的に始動します。

地元の漁師や林業会社が全面協力

伊豆未来塾が15年以上前から海の清掃活動を行っていたことや伊豆未来塾の中に漁師のメンバーがいることもあって、伊豆漁業協同組合南伊豆支所がプロジェクトに全面協力することになりました。さらに、伊豆未来塾の一員である仲尾さんは、自らが代表を務める有限会社愛美林としてプロジェクトに参加しました。

学校林を植樹に向けて整備

まずは愛美林が、植樹する適地を探すことからスタートしました。地域貢献のプロジェクトとして、学校林を所有している南伊豆町に働きかけ、植樹する土地を確保。そして重機等を使用して樹齢90年過ぎた針葉樹を伐採し、市場に出荷。その後、余計な枝葉や石を集め地ごしらえと獣害対策のため保護柵の設置を行いました。植樹する苗は参加者が植えやすいようある程度成長した苗を選ぶ工夫もしました。

伊豆漁協は、組合員に向けて植樹祭参加者募集や植樹場所に掲げる大漁旗の準備等を行いました。

幅広い職種・年齢層が植樹祭に参加

2021年1月、植樹祭を開催しました。参加者募集の際には、SNSでの告知の他、地元銀行や地域住民等も参加者募集に協力してくれました。さらに、子ども達に自然に触れて学んでもらおうと南伊豆町教育委員会が協力し、子ども達へのチラシ配布と募集の取りまとめを行ってくれました。当日は、伊豆漁業協同組合、静岡銀行、南伊豆町教育委員会ふるさと学級、静岡県賀茂農林事務所、下田海上保安部、漁師等140名（うち子ども17名）が参加。2000本近くのコナラの木を定植しました。

参加者が森林に関心を持つきっかけに

2021年11月に行われた2回目の植樹祭では、107名が参加し、クヌギと桜の苗を定植しました。2回目の植樹祭では、前回の参加者が多く参加しました。「前回植えたところは現在どうなっているのか？」「1年でどれぐらい育つのか？」等参加者が森づくりに興味を持つきっかけになりました。

Point

今回のプロジェクトのポイントは、植樹祭が行われる約1ヶ月前に、伊豆未来塾が参加者向けの事前講演会を行い、プロジェクトの概要、山に木を植える大切さについての講演、プロジェクトの進行具合の報告などを行ったことです。参加者たちがプロジェクトについて共感・理解してから植樹祭を行うことでリピートの参加者が多くなり森づくりへの関心を高めることに繋がりました。

これからの展望

現時点では、植林・整備した面積は2haにとどまっているので南伊豆町に合った樹種を探し面積を広げて植樹・整備を進めていく予定です。数十年放置された山が原因で獣害や災害が起きているので、放置された山をもっと活用できるように例えば、林業に関わる人が少しでも間伐材や収穫した木で稼げるようにしていきたいと考えています。

